

PCT Information Vol. 2

監修: 東京医科大学八王子医療センター 特定集中治療部
教授 池田 寿昭先生

様々な敗血症治療時にプロカルシトニン (PCT) を測定すると治療の奏功に伴い PCT が減少していることが確認されています。PCT を用いた敗血症治療のモニタリングについて紹介します。

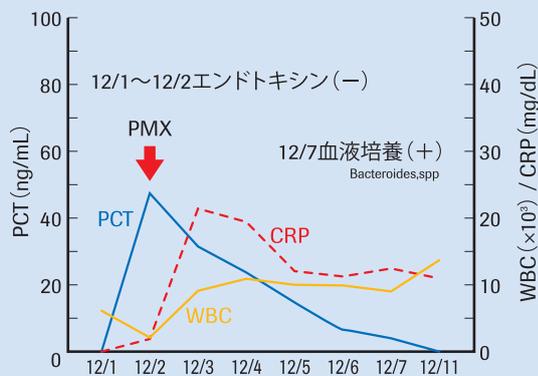


PCT 定量測定で細菌性敗血症の治療モニタリングを!!

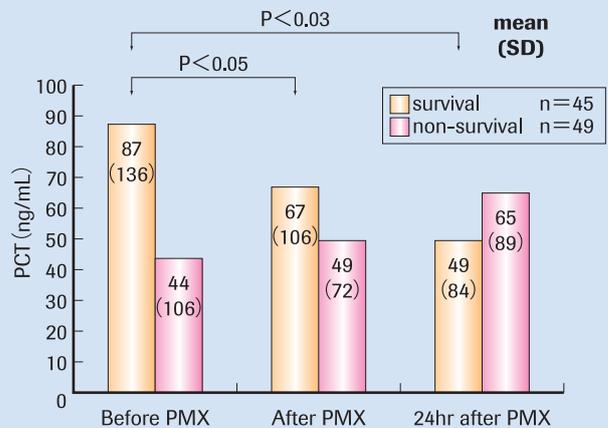
エンドトキシン吸着療法 (PMX-DHP) の予後予測、モニタリングに有用です

エンドトキシン陰性・PCT 高値の敗血症患者において、エンドトキシン吸着療法後快方に向かい PCT 値も減少した

エンドトキシン吸着療法後のプロカルシトニン値は、生存群では有意に減少し、死亡群では増加した



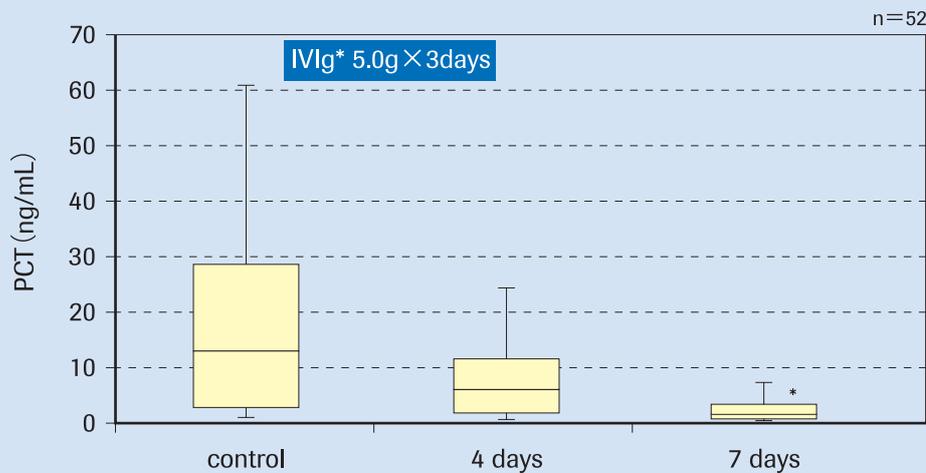
伊藤ら、医学検査 vol.57 No.3 2008



池田ら、日臨麻会誌 vol.27 No.1 2007

免疫グロブリン製剤投与後でも有意に減少します

免疫グロブリン製剤投与後のプロカルシトニンレベルは減少傾向にあり、投与7日目は有意な減少を示した



Mann-Whitney U-test with Bonferroni correction
*: p < 0.05 compared with control

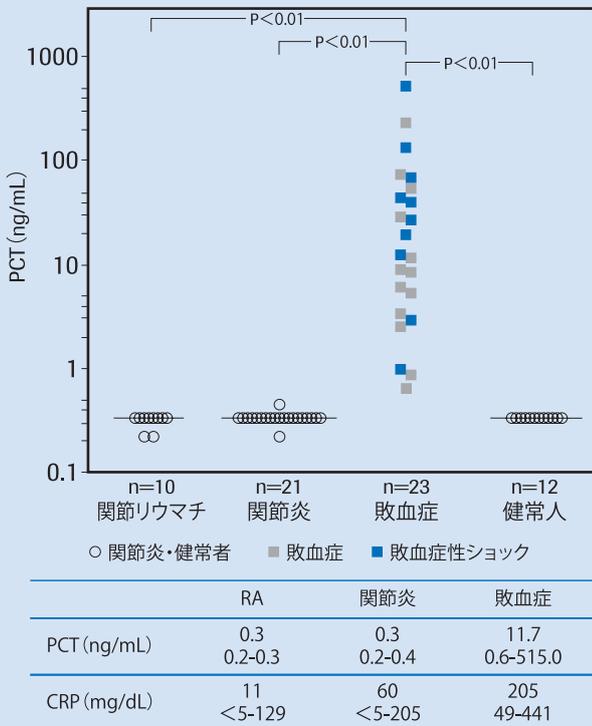
*IVIg: 静注用免疫グロブリン

池田ら、Med Postgraduates vol.47 No.4 2009



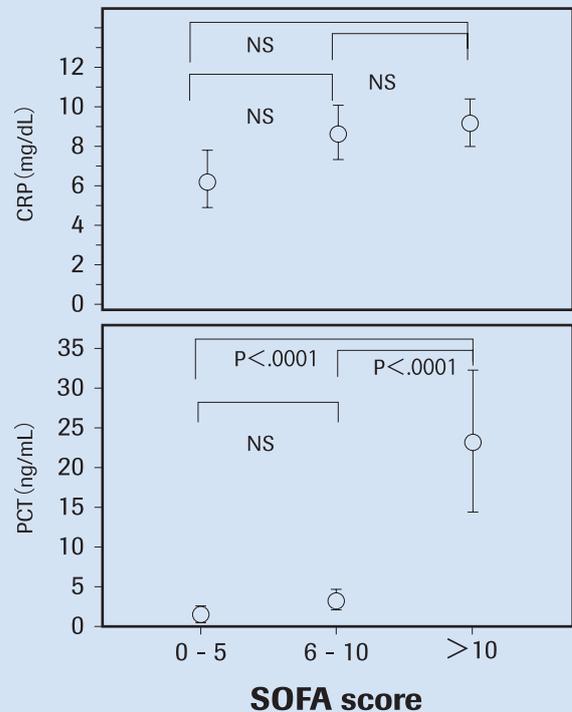
炎症反応時も、ステロイド療法時もPCTは有意に上昇します

炎症反応マーカーのCRPは敗血症の鑑別診断は難しいが、PCTは敗血症のみで上昇した



Kuuliala et al., Scand J Rheumatol 2004;33 (1)

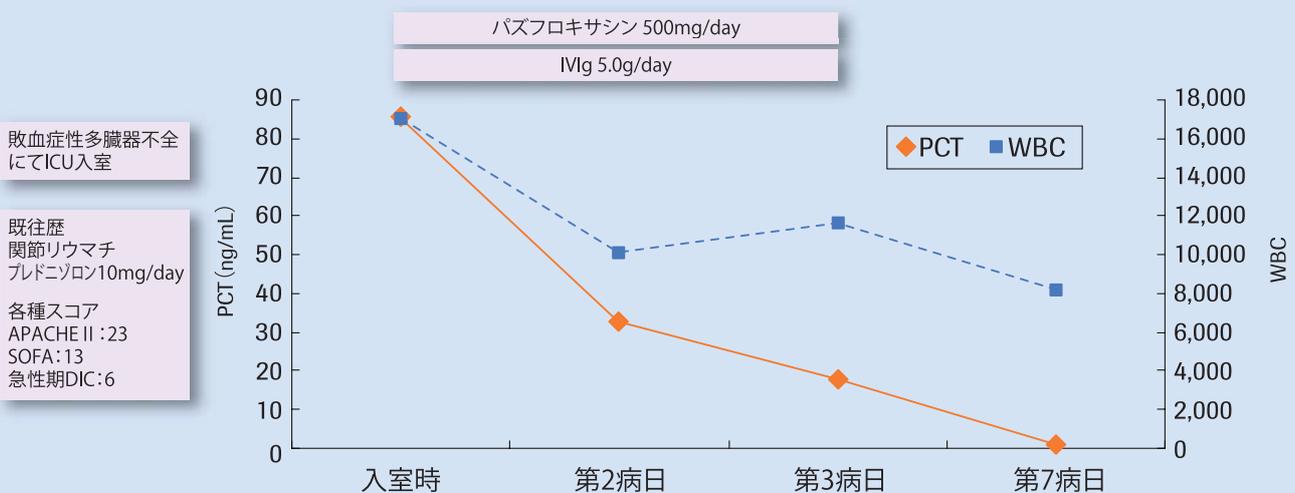
敗血症ショック時に多用されるステロイド療法後もPCTは重症度と相関が見られた



Kushimoto et al., J Nippon Med Sch vol.73 No.6 2006

ステロイド治療RA患者における診断・モニタリングにも有用です

ステロイドの投与は、白血球数やCRPの変化に影響を与えるが、ステロイド治療を受けている患者においても、PCTは治療の奏功と共に値が減少した



データ提供: 東京医科大学八王子医療センター

